

H30年度 就労部会 振り返り・評価シート

H31年1月16日作成

1 今年度の活動について

【今年度の方針】

就労移行支援事業所等からの一般就労への移行について、情報共有と実態把握を行い、取り組みの方向性を検討する。

【今年度の取り組み内容】

開催回数	5回	開催月	7月、9月、11月、1月、2月
------	----	-----	-----------------

具体的活動内容

・一般就労への移行についての課題を検討し、就労移行支援の再利用についての必要性を確認した。
・就労関係機関シートを更新し、シートを活用して、一般就労への課題について共有した。

【今年度の取り組み結果】

(今年度の活動からどのような結果となったのかを記載)

・就労関係機関シートを更新を行った。
・就労移行支援の再利用ができるように、長岡市独自ルールの設定を市で検討することとなり、現実的に実施する方向となった。

【取り組みの成果】 ※モニタリングを実施した場合のみ

(取り組みの結果が「どのように地域へ還元できたのか」をモニタリングから確認した内容の記載)

2 今年度の振り返り及び評価について

【今年度、協議会活動を通じての振り返り(メンバーの感想・意見)】

メンバーが協議会での活動を通じて感じたことや気づき、今年度部会・ワーキングの取り組みに関すること、長岡市協議会の運営や体制に関する課題・意見等

- ・就労移行支援の再利用について、福祉課と協力して検討できて良かった。(良い方向に進んでいる。)
- ・長岡市独自の取り組みや事業の振り返り・強化をしていきたい。
- ・知らないこと(制度、関係機関の役割等)が勉強になった。他職員に伝えたり、今後の取り組みに活かしたい。
- ・部会員がどのような業務に携わっているかわかった。
- ・就労関係機関シートについては一旦区切りをつけられそう。(いつまでも検討していくのはよくない。)
- ・就労ワーキングでのガイドライン(セルフチェックシート)第一版が完成したことは成果。
- ・課題がありすぎて議論していくのが難しかった。(どこに焦点を絞っていいのか難しかった。)
- ・企業としては専門用語が飛び交っているとわからない。話についていけないところがある。
- ・福祉サービス以外の話ができれば良いのではないか。
- ・企業から見るとわからない内容の部会だったのではないか。企業の考えや意見をもらいながら行わないと偏ってしまう。(企業も部会員として出席してもらえるように考えていかなければいけない。)
- ・地域での課題が集約できるような体制づくりが必要。(集まった部会員だけでの課題出しになってしまっている。)
- ・部会ありきで「何かしなきゃ」という感じがした。(企業等の参集者には「こういった内容について意見がほしい」という呼び方にしないと参加が難しいのではないか。)
- ・企業との付き合い方の難しさがわかった。部会として企業とどう関わっていくか。)

【協議会の機能について】

今年度の活動の中で(活動の振り返りから)、どのような協議会の機能があったかを確認する。

※協議会の機能詳細については別紙を参考。

	確認した機能の内容 (どのような部分が機能であったか、なかった場合はなぜなかったか等)
情報機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労関係機関シートの内容、各機関の取り組みや一般就労への課題を共有できた。 ・ 就労移行支援の再利用等の検討をすることで、いろいろな制度等知ることができた。 ・ 部会員がどのような業務に携わっているか知ることができた。 ・ ガイドライン(セルフチェックシート)を通して、事業所の実情を知れた。
調整機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労移行支援の再利用を検討していくことで多機関と関わることもできた。 ・ 企業を部会員として参加してもらえるように、企業の考えや意見を集約することが必要と感じた。
開発機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労移行支援の再利用について検討していくことができています。 ・ 就労関係機関シートの修正・追加ができた。 ・ ガイドライン(セルフチェックシート)第一版が完成した。
教育機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労関係機関シートを通して、各機関の取り組みや一般就労への課題を知ることができた。 ・ 部会員の所属機関の役割について理解できた。 ・ ガイドライン(セルフチェックシート)の作成にあたり、事業所の実情を知れた。
権利擁護機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労移行支援の再利用が制度として利用が可能となれば、利用者にプラスになる。
評価機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労移行支援の再利用について、現状の確認・検討ができた。 ・ 就労関係機関シートの内容について確認をした。 ・ ガイドライン(セルフチェックシート)第一版作成にあたり、内容の確認ができた。

【今年度の振り返り・協議会の機能から確認できた成果】

※モニタリングによる成果(地域へ還元できたかどうかの成果)とは異なることに留意

- ・就労関係機関シートの修正・追加。
- ・ガイドライン(セルフチェックシート)第一版の完成(就労ワーキングの取組)。
- ・就労移行支援の再利用についての検討。

3 来年度の取り組みについて

来年度の継続	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 終了
継続・終了の理由	就労に関する課題は多く、今後も情報共有や検討の場が必要であるため。

※部会を一旦終了とする場合については、運営会議にて協議の判断材料とできるようその理由を明確に記載すること。

今年度の取り組みに対する モニタリングの実施	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	モニタリング実施時期	年	月
---------------------------	--	------------	---	---

※ワーキングのみ記載

【振り返り・評価内容を受けて、来年度改善を行うこと】

※来年度継続の場合

会議内容や方法に取り入れることなど、具体的に記載する。

- ・部会内で情報共有を行いつつ、関係機関で実施している取り組み等を踏まえて検討する。
- ・部会の検討内容に応じて部会員の構成を考える(例:企業のメンバーを呼ぶ際には、意見をもらいたいことが具体的になったところで参加を呼びかける)。

【来年度の方向性・具体的取り組み内容や引継ぎ事項等】

※来年度継続の場合

- ・就労移行支援の再利用についての把握を行いつつ、就労継続支援B型から就労への移行に関する取り組みについて検討する。
- ・就労定着支援について、現状を共有しながら、必要な取組について検討する。